

巻 頭 言

平成 25 年を振り返ってみますと、地球規模では、猛烈な台風がフィリピンを直撃し、死者・行方不明者約 8,000 人という被害がありました。露には隕石が落下し、多数の負傷者が出て、日本では伊豆大島の土石流で 35 人が死亡と災害が多い年でした。また、夏の猛暑、中国での PM2.5 大気汚染など地球環境の悪化を考えさせられる年でした。一方、日本では 2020 年の夏季オリンピック開催地が東京都に決まったり、富士山が世界文化遺産に決定したりして明るい話題がある年でもありました。

五島中央病院では、8 月に日本病院機能評価を受審しました。4 人の審査委員が他県より来られ、2 日間に亘り病院の隅々まで、あるいは大量の書類を審査されました。その結果、職員の頑張りの成果として 10 月に晴れて認定されました。

また、11 月から 12 月まで血管造影装置の更新を行い、快適にどんどん検査・治療ができるようになりました。

26 年は、1 月から同じ企業団病院の奈留病院が五島中央病院附属診療所奈留医療センターとして 19 床の診療所に生まれ変わります。これまで以上に当院と連携をとりながら五島の特に奈留の医療を担っていくこととなりますのでよろしく願いいたします。

また、3 月にはいよいよ当院も電子カルテになります。大学からの派遣医師に不便をかけていましたが、職員もすぐに慣れて効率的な医療を提供できるものと思っています。

ところで看護師不足は相変わらずです。その対策の一つとして院内保育所と看護師寮の建設を 26 年度中にできるように、今、準備を進め最後の詰めとなっています。働きやすい環境づくりを整えて一人でも多く、五島に帰ってきてもらいたいと考えています。

26 年は診療報酬改定の年でもあります。2025 年に向けて医療制度の改革が進められています。当院もこの一年を振り返りながら、人口減少が進んでいる五島でどのような形で五島の患者さんに良質の医療を提供していくか、当院もその流れに取り残されないように職員とともに頑張っていきたいと考えています。

ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

平成 25 年 12 月

院 長 神 田 哲 郎